



荻の里

黒部市立荻生小学校
学校だより 5号
令和元年10月3日

目指す子供の姿 **や**さしく **か**しこく **た**くましく

《特集号》

令和元年度全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日、6年児童を対象として実施された「令和元年度全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりました。今年度は、教科に関する調査（国語、算数）と質問紙調査（児童の学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関するアンケート）が実施されました。

これは、6年児童のみに実施されたものであり、また、この調査によって測ることができるのは、児童の姿の一面です。しかしながら、調査結果は本校児童の学力・学習状況の傾向として捉えることができるものとも考えます。全教職員で結果をしっかりと分析し、これまでの指導の成果や課題を明らかにすることにより、全学年の授業改善につなげ、本校児童のさらなる学力向上に向けて取り組んでいきたいと思えます。

※ 6年児童が取り組んだ調査問題・解説等の詳細については、国立教育政策研究所（文科省）のHPで公開しております。ぜひ、ご覧ください。

学力の土台は「安定した心と元気な体」!!

子供たちが意欲的に学習に取り組むためには、安定した心と元気な体が必要です。心が不安定になると、物事に集中できなかったり、すぐにくじけてしまったりしがちです。また、体が元気でないと、がんばる気持ちや挑戦しようとする気力もわいてきません。子供は、周囲からの温かい励ましや見守りによって自尊感情（自己肯定感）を高め、安定した心を育てていきます。早寝・早起き・朝ご飯などの規則正しい生活習慣は、元気な体をつくります。まずは、学習に取り組む土台となる子供たちの生活や心の状態を見つめ直したいと思えます。

学校では、子供たちが生き生きと成就感を味わいながら学校生活を送ることができるよう、「笑顔がいっぱいの安心・安全な学校づくり」や「分かる・できる・楽しい授業づくり」に努めていきます。ご家庭でも、保護者向けリーフレット「荻っ子のやくそく」や「家庭学習の充実に向けて」等を参考に、望ましい生活習慣の定着や家庭学習の習慣化、そして何よりも、子供たちの「安定した心と元気な体」を育てることにご協力をお願いします。

荻っ子のすがた（学力調査の結果から）

【国語】

◎定着度が優れていた学習内容	▲定着度に課題の残った学習内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字を文の中で正しく使うこと。（同音異義語の中から正しい漢字を選ぶ） ・ 文と文の意味のつながりを考えながら接続語を使って内容を分けて書くこと。 ・ インタビューに関する問題で、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめること、目的に応じて質問を工夫すること。ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にしてまとめて書くこと。 ・ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むこと。 ・ 報告文に図表やグラフ等を用いた目的を捉えること。

【算数】

◎定着度が優れていた学習内容	▲定着度に課題の残った学習内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 台形についての理解。 ・ 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ること。 ・ 水の使用量を年度で比較し、何倍かを読み取ること。 ・ 示された減法に関して成り立つ性質を基にした、計算の仕方を解釈し適用すること。 ・ 示された除法の式の意味を理解すること。 ・ 目的に適した伴って変わる二つの数量を見出すこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述すること。 ・ 資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述すること。 ・ 示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に除法に関して成り立つ性質を記述すること。 ・ 示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式すること。

確かな学力の育成に向けて

【国語】

- ・ 目的や意図に応じるために、求められているいくつかの条件をすべて網羅して文章をまとめることが難しかったようです。授業の中で、条件に合わせて文章を書く活動を取り入れていきます。また条件を1つ、2つと段階的に増やして確実に書くことができる力を身に付けられるようにしていきたいです。
- ・ 目的に応じた文章の読み取りという点でも課題が見られました。膨大な資料の中から自分に必要な情報を得るために、目次から適切なページを選んで読むことができるようにしていきたいです。そのために、調べ学習の時間には、本や文章全体から概観して効果的に読む方法を指導し、そのような体験を増やしていきたいと思えます。

【算数】

- ・ 面積の求め方、計算の仕方、考え方を言葉や数を用いて記述することに課題が見られました。順序立てて論理的に説明する、理由を付けて説明するといった活動を授業の中に多く取り入れて、力を高めていきたいと思えます。
- ・ 問題場面を適切に読み取り、複数の数量から必要な数量を選び、式に表すことに課題が見られました。文章をよく読んで、示された場面を把握し、求められていることは何かを常に意識するようになっています。図に表して捉えたり、より簡単な場面で考えたりすることも習慣付けていきたいと思えます。
- ・ 自分の考えを記述することに抵抗のある児童が少なからずいます。授業において、自分の考えをもち、相手に伝わるように書くことを大切に指導していきます。

荻っ子のすがた（児童質問紙調査の結果から）

◎ 基本的な生活習慣が身に付いています。

「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と答えた子供がとて多くいました。集中して勉強するには、元気な心と体が何より大切です。そのためにも、よい生活習慣を身に付け、継続して行ってほしいと思います。

◎ 自分のよさを知り、目当てを持っています。

「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に、「当てはまる」と答えた子供の割合が全国や県平均よりも比較的高かったです。学力を高めるには、自分のよさを理解して、自分の目標に向かって頑張ろうとする気持ちが根底にあることが重要です。学校でも、ご家庭でも多角的に子供のよさを捉えて伝えていくことで、さらに意欲的に学習を進めていけるとと思います。



◎ 周囲のことを考えて人の役にたとうとしています。

「人が困っているときは進んで助けていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問には全員が「当てはまる」と答えていました。自分のことだけでなく、人のことを考え、人の役にたちたいという思いやりの気持ちが育っていることを感じます。

◎ 地域の行事やボランティアに積極的に参加しています。

「住んでいる地域の行事に参加している」子供や「地域社会でボランティアに参加したことがある」と答えた子供が多くいました。荻生地区は、公民館祭りや収穫祭等の地域の行事やさわやか挨拶運動等で地域の方とふれ合う機会が多いことが特徴です。また、6年生として福祉施設等への訪問ボランティアを進めようという目当てを年度当初からもっていました。それらを通じて、子供は地域の方々の期待を感じ、認められることで喜びを感じることが出来ます。「地域で育つ荻っ子」であること再認識しました。

△ 家で話す機会が少ないようです。

「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか」という質問に「している」と答えた子供の割合があまり多くありませんでした。学校での様子を見ていると、話がしたい気持ちはとてもあるようです。お忙しいとは思いますが、お子さんと話す時間をつくっていただくと、さらに心の安定につながると思います。

△ 失敗は成功のもと、挑戦する気持ちも大切に。

「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか。」という質問に対して当てはまると答えた子供があまり多くありませんでした。与えられたことを最後まで確実に行う子供たちが多いと感じますが、自分から挑戦する経験は少ないのかもしれない。失敗を恐れずに、是非持てる力を発揮して行ってほしいと思います。

健やかな心と体を育むために

1 嫌なこと・苦しいことに直面したときを成長のチャンスとしましょう。

☆ あきらめない心と態度が育っている子供は、正答率が高い傾向にあります。

- ・自分で決めたことや課題は、辛くてもがんばる経験をさせましょう。
- ・結果を出すことも大切ですが、努力する過程を成長につなげましょう。

2 認め励ます言葉を多くし、やる気や積極性につなげましょう。

☆ 認められた経験が多く自尊感情の高い子供は、正答率が高い傾向にあります。

- ・自己有用感（人の役に立っていると感じる）や自尊感情（自分自身を価値ある存在と感じる）が高まるような関わりや言葉掛けを大切にしましょう。
- ・他との比較でなく、努力や進歩の様子を認め、励ましましょう。

3 基本的な生活習慣を身に付けさせましょう。

☆ 規則正しい生活をしている子供は正答率が高い傾向にあります。

- ・決まった時刻の起床と就寝に努め、しっかりと睡眠時間を確保しましょう。
- ・テレビの見方やゲームや動画等の利用時間について家族で話し合い、ルールを決めて守らせましょう。

4 規範意識や自分を律する心を育てましょう。

☆ 学校のきまりや友達との約束を守る子供は、正答率が高い傾向にあります。

- ・ルールやマナー、約束の意味とその大切さを子供たちに伝えましょう。
- ・様々な人と関わる経験を通して、社会や集団の一員であるという意識や自覚をもつことができるようにしましょう。

5 読書に親しむ環境を整えましょう。

☆ 読書に親しんでいる子供は、正答率が高い傾向にあります。

- ・本を読むことは文字に親しみ、世界を広げることにつながります。読書を楽しむ習慣を育てましょう。
- ・新聞を読むことも社会への関心を高めたり、新しい言葉を習得したりするのに有効です。



6 自学ノートを積極的に活用しましょう。

☆ 家庭学習に計画的に取り組んでいる子供は、正答率が高い傾向にあります。

- ・低学年から、目当て（10分×学年）の時間を少しずつ伸ばすことで、家庭学習の習慣化に取り組みましょう。
- ・教科書を使って予習・復習（特に分からなかった問題を中心に）やテスト勉強に取り組みましょう。
- ・自分でノートをまとめる練習も積み重ねましょう。